

さみどり

藤枝市立瀬戸谷小学校
学校だより No. 9
令和4年 11月 5日

学校重点目標 : 自分から行動「わくわく」を共に創り出す

令和4年度 全国学力学習状況調査 結果のお知らせ

4月19日に行われた小学校6年生対象の「全国学力・学習状況調査」について、全国や県・市の結果とともに本校の調査結果も届きましたので、本校の成果と課題を以下にまとめます。今後の指導の参考とし、授業や学校生活の中でより力を伸ばしていけるように努めます。また、ご家庭でも、家庭学習等の取り組みにおける参考にしていただければと思います。

なお、この調査の目的や調査結果は学力の一部を計るものであり、学校教育の一つの側面にとらえております。ご理解の程お願いいたします。



[国語] (○成果 △課題)

- 言葉の特徴や使い方に関する事項：話し言葉と書き言葉の違いを理解すること。
- △読むこと：登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基にとらえること。
- △書くこと：文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
：文章全体の構想や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
- △我が国の言語文化に関する事項：漢字の仮名の大きさ、配列を修して書くこと。
- △言葉の特徴や使い方に関する事項：漢字を文の中で正しく使うこと。

言葉の使い方について理解する力が付いていることが読み取れました。
「書くこと」に関して、特に課題が見られました。文章を書くときに、低学年では「内容や記述の具体性」、中学年では「書こうとしたことの明確さ」、高学年では「文章全体の構成や展開の明確さ」などが意識できるように、指導していきたいと思います。また、「漢字を文の中で正しく使う」ことにも課題があるので、日々の積み重ねの指導を丁寧に行い、力を付けていきたいです。

[算数] (○成果 △課題)

- 数と計算：かけられる数に空位(0)のある整数のかけ算の計算をすること。
- 数と計算及びデータの活用：表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めること。
- △変化と関係：数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること。
伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述すること。
百分率で表された割合を分数で表すこと。
- △図形：正三角形の意味や性質を基に、正三角形の構成の仕方について考察し、記述すること。
- △数と計算：目的に合った数の処理の仕方を考察すること。

基本的な計算をすることについて、力が定着していることが読み取れました。
課題として、「図形」の領域において、作図の仕方を考えたり、それについて筋道を立てて説明することや、「変化と関係」の領域において、図や式などを用いて2つの量の関係を表したりすることに課題が見られました。ただ、「答えが出せた」「解けた」ではなく、過程や考えを数字や図、言葉で表現することを大切にして、指導をしていきたいです。

[理科] (○成果 △課題)

- 「生命」に関する領域：問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの筋道を構想し、自分の考えをもつこと。
：提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。
- △「粒子」に関する領域：自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること。
- △「エネルギー」に関する領域：日光は直進することを理解すること。
：実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること。
- △「地球」に関する領域：観察などで得た結果からいえることを分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。
：予想を基に結果を見通して、問題が解決するまでの筋道を構想し、自分の考えをもつこと。

昆虫の観察や育ち方といった「生命」に関する領域の力がついていることが読み取れました。課題としては、自然の事物・事象で得た事実について、自分や他者の気づきを基に、違う点や共通点を捉えることや、観察・実験の結果から考察をすることが挙げられます。授業の中で事実や結果を基に話し合い、より妥当な考えをつくりだしたり、問題を見出したりする場面を設定していきたいと思います。

[質問紙] (○肯定的な回答の割合が高かった項目)

- 将来の夢や目標をもっている。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 友達と協力するのは楽しい。
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うことは勉強の役に立つと思う。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 国語の勉強は大切だと思う。国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 算数の勉強は大切だと思う。算数の授業の内容はよく分かる。算数の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思う。算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。
- 理科の勉強は好きである。理科の勉強は大切だと思う。理科の授業の内容はよく分かる。



規範意識や学習に対する興味・関心に関する項目で肯定的な回答が多く、育まれていることが読み取れます。また、温かな人間関係の中で、協働・共生する良さも感じることができており、瀬戸谷の地域のよさ、小規模の強みが子どもたちの成長につながっていると思います。

一方で、生活習慣（同じくらいの時刻に寝る・起きる）や学習習慣（テレビゲームやスマホ・タブレットを学習以外で使う時間、家で自分で計画を立てて勉強をすること、読書をする時間）が、全国や県の状況と比較して課題が見られる傾向がありました。また、授業に関することでは、他の方法はないか考えたり、自分の考えを表現したり、学んだことを振り返って次に生かそうとするところに自信のなさが見られました。自分のよさを伸ばし、生き生きと自分を表現する子を育てていけるよう、家庭と協力したり、授業の進め方を工夫したりしていきたいと思います。